



## 令和元年度公共用水域水質測定結果の概要

令和元年度は、岩木川、馬淵川、十和田湖、小川原湖、陸奥湾等の 63 河川、7 湖沼、8 海域の総計 195 地点について水質測定を実施しました。

### 1 県内の公共用水域の水質の概況

公共用水域の水質を保全するため、県内の公共用水域において、水質汚濁防止法の規定により定めた測定計画に基づき、人の健康の保護に関する項目（健康項目）や生活環境の保全に関する項目（生活環境項目）等について、水質の常時監視をしています。

令和元年度の水質の測定結果は、総体的に見て概ね良好な状況にあります。

### 2 健康項目の環境基準達成状況

カドミウム、全シアン、砒素等の健康項目について、46 河川、5 湖沼、3 海域の 111 地点において測定を行った結果、正津川において砒素、沖館川においてふっ素が環境基準値を超過し、環境基準の達成率は 98.2%でした（図 1）。

なお、環境基準を達成できなかった原因として、正津川の砒素については、砒素を含む温泉の湧出に由来する自然要因、沖館川のふっ素については、感潮域であるため海水の流入による影響と考えられます。

### 3 生活環境項目の環境基準達成状況

#### (1) pH、BOD（COD）等

有機性汚濁の代表的な指標である BOD 又は COD で評価すると、環境基準の類型指定がなされている 42 河川（56 水域）、3 湖沼（3 水域）及び 8 海域（28 水域）における環境基準の達成率は、河川 96.4%、湖沼 33.3%、海域 96.4% であり、全体の達成率は 94.3% でした（図 2）。

#### (2) 全窒素、全磷

全窒素及び全磷に係る環境基準の類型指定がなされている 1 海域（陸奥湾）において測定を行った結果、全窒素、全磷ともに環境基準を達成しました。

#### (3) 水生生物の保全に係る環境基準項目

水生生物の保全に係る環境基準項目（全亜鉛、ノニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（LAS））について、環境基準の類型指定がなされている 41 河川及び 3 湖沼において測定を行った結果、3 項目とも全ての水域において環境基準を達成しました。

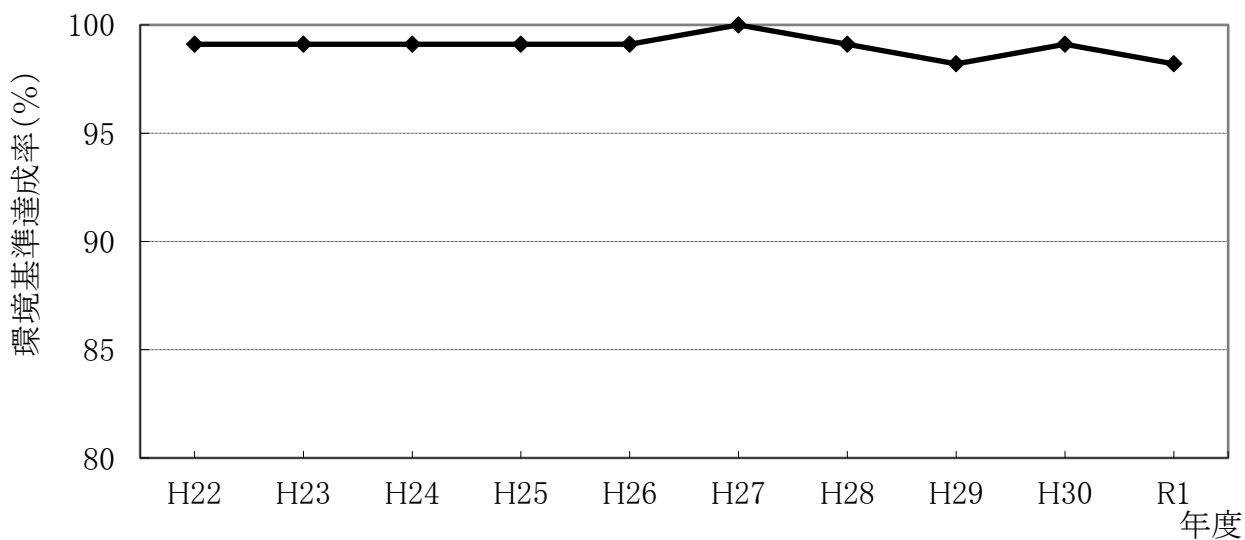


図1 健康項目の環境基準達成状況

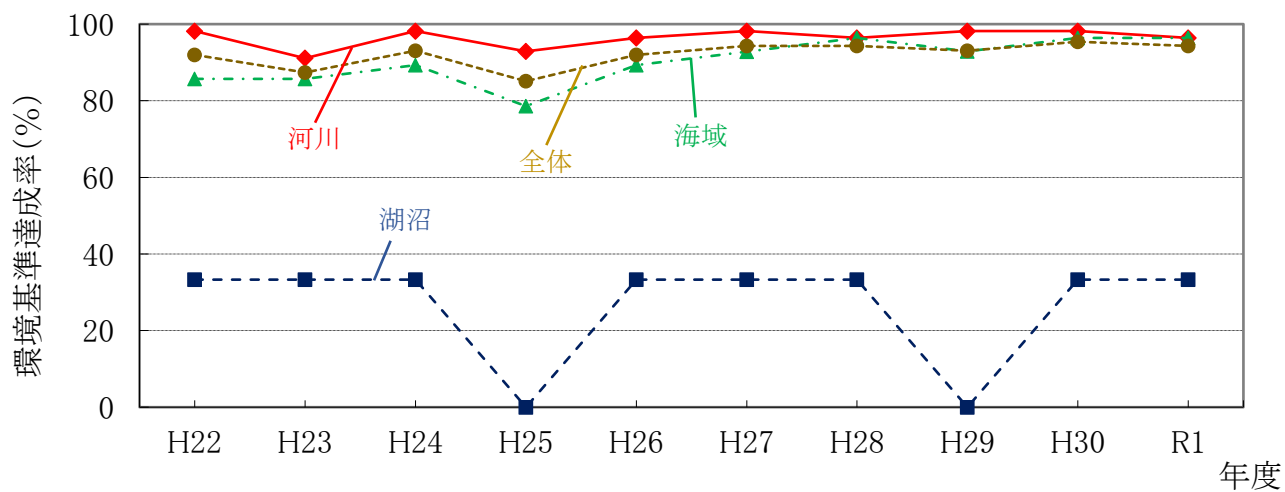


図2 BOD及びCODの環境基準達成状況